

英語 Debate Contest に出場しました！

昨年は交流試合で実施されましたが、今年はコンテストとして 2/6(日)に Zoom による兵庫県高校生英語ディベートコンテストが開催されました。鳴尾高校からは有志4名が出場しました！論題は、「日本政府は、首都機能を東京の外に移転すべきである。是か非か。」というなかなか難しいテーマではありましたが、国際文化情報学科の生徒だけでなく、普通科の生徒と共に、そして1,2年生で協力しながら準備をして、一生懸命戦ってきました！！

**Topic: That the Japanese Government should relocate
the capital functions out of Tokyo.**



他校と練習試合もしました！



試合中もしっかり
話し合います！



<生徒感想より>

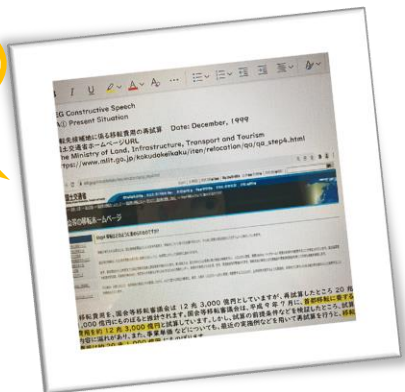
初めての英語でのディベートだったので、最初はどのようにしていいか分からず、右往左往しました。やっていく中でコツもつかみ、楽しくなってきました。また、練習試合を通じて、他校が注目していた「東京の空き家増加問題」は自分たちの盲点であったのでハッとするものがありました。

1番大変だったことは evidence を徹底的に調べることです。調べても調べても先生方から「これはどういうこと？なぜこうなるの？」と弱点を突かれてばかりで、ツメの甘さ、調べ方の工夫など、とても勉強になりました。

リサーチや ALT と英語の
練習を重ね、
いよいよ本番です！！



**エビデンス(証拠)の
準備も完璧!!**



**みんな
真剣そのもの!**

**メモもしっかり
取っています!**



**試合後は、他校の
生徒と和やかに
おしゃべりしました!**

★最後の対戦は、相手の主張も分かり、自分の言いたいことも伝えることができました。決勝戦のディベートを見て、流暢な英語とスピードのあるやりとりに圧倒されました。同じ高校2年生なのに、皆すごいなと驚き、もっともっと視野を広げて頑張っていかなければ…と向上心が出てきました。

★情報をたくさん持っている人の強みや相手側の質問を予測する大切さなど新たな発見もありました。コンテストでは、授業でのディベートと違って初対面の人と意見を交わす緊張感を体験できて、ワクワクとドキドキ感が満載でした。このメンバーでたくさん笑いながらディベートコンテストに向けて努力してきたことは、僕にとってかけがいのない思い出となりました。楽しかったです。